

指定管理業務実績（上半期・下半期）報告書

平成29年4月20日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

葉山港指定管理者
株式会社リビエラリゾート
代表取締役 渡邊 昇



葉山港の管理に関する基本協定書第42条第2項の規定に基づき、次のとおり指定管理業務実績報告書を提出します。

記

- 1 葉山港事業実施報告書
 - (1) 業務の運営に係る総括
(組織体制、内部管理体制、受付の無休化、スタッフ研修、業務合理化等)
 - (2) 港湾管理業務に係る総括
(利用承認業務、利用者指導・調整等、安全管理指導)
 - (3) 維持管理業務に係る総括
(施設維持管理業務、災害時対応業務等、駐車場管理業務)
 - (4) 開かれた港湾に向けた取組に係る総括
(開かれた港湾に向けたイベント等実施結果、利用促進・付帯事業・広報等)
- 2 下半期収入状況
- 3 下半期指定管理料執行状況報告書
- 4 下半期証紙購入及び収入

(第37号様式)

指定管理業務実績（下期）報告書

平成29年4月10日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

指定管理者
株式会社リエラリゾート
代表取締役社長 渡邊 昇

1、葉山港事業実績報告書（平成28年度下期）

（1）業務の運営に係ることについて

ア、組織体制

- ・平成28年度葉山港人員配置書の基づき、正社員5名、非常勤社員4名、アルバイト作業員5名の業務実施対応をとった。

ハーバー課員について人員の入れ替えがあり、1名が抜けた分1名を補充した。

イ、内部管理体制

- ・必要に応じて分担外の事務を相互に援助し処理する為に、事務所に携わる全スタッフが窓口事務、利用承認事務や駐車場料金回収業務等対応できる状態にし、青海苔除去作業、港内の巡視業務に関しては、荒天時以外は全スタッフで対応できる状態にした。上期に引き続き「施設の磨き上げ」をテーマに全従業員が交代で作業にあたり、利用者目線で施設を見直し、必要に応じて塗装や磨き作業を実施した。

ウ、受付の無休化

- ・26年度から31年度までの年中無休で受け付けを継続する事を25年度中に申請した。

エ、スタッフ研修

- ・毎日朝礼を実施し、挨拶練習と接遇練習を実施。
- ・地震による津波警報が発令された想定でスタッフ間の避難訓練を実施。合わせて外部委託の夜間警備員についても、避難行動マニュアルの内容に沿った避難誘導訓練を実施した。

オ、業務合理化等

- ・業務内容をスタッフ間で週に一度ミーティングを開催し、港内全般の経費の節減や小規模の修繕について話し合い、都度改善に取り組む。

（2）港湾管理業務

ア、利用承認業務

- ・利用承認手続き事務については、「葉山港の施設の利用承認等に関する事務処理要綱」に基づき実施しており、順調に推移している。
- ・その他、条例、規則、利用上の取扱い等を遵守し、中立公平を旨として実施している。利用承認申請手続きにおいて、個人情報漏洩に注意し、申請内容、添付書類等の確認を図りながら収入証紙の消印時の確認等に誤りがないよう事務の執行に際し徹底指導を行っている。
- ・ヨット競技が同日に複数開催される際には、施設が効率的に利用できるよう調整し、有効活用を図った。その他、大会ヤードやビジター棧橋について一般の臨時利用もヨットレースと同時にご利用をいただく工夫を実施。クレームや大きな事故などなく安全に大会ヤードを提供した。

イ、安全管理等サービス業務

- ・艇の出艇時に気象等安全に関することを窓口で必ず伝え、注意報等が発令された時は、ヨット施設利用者等の安全管理等業務に基づき出艇禁止等の措置を行い、また、天候が急変した時は、救助艇で海上での帰港指導を行うとともに帰着の確認をし、安全な対応を図っている。
- ・窓口での対応をはじめ船舶係留施設の安全点検を実施している。
- ・葉山町や県主催の行事に積極的に協力し人員の補助や、レスキュー艇で体験乗船を行った。

(3) 維持管理業務に関することについて

ア、施設維持管理業務

- ・定められた施設の維持管理に伴う定期清掃については、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めている。港内船揚場斜路の青海苔除去作業については、特に注意深く行い、利用者の安全に努めた。その他、港内巡視業務を実施し、各施設の安全確認を行った。また、通常の巡視業務とは別に A 防波堤を 1 日 2 回巡視し、立入禁止区域への立入者への口頭注意と港内放送での注意を実施。夜間についても警備員が施設全体を定期的に巡回し、施設内の安全管理に努めた。

イ、保守点検・修繕等業務

- ・施設を安全に利用できるよう事務所自動ドア、自家用電気工作物保安管理業務等の全 6 項目において保守点検を専門業者へ委託した。自社のレスキューボート 2 艇に関しましては、自社の整備担当スタッフによる点検・修理を実施。

ウ、災害時対応業務

- ・葉山港は葉山町地域防災計画に位置づけられており、町に災害対策本部が設置され、葉山港においては緊急物資の受け入れや避難場所の開設等、県の災害対策本部との連携にあたって、事務所スタッフが迅速な対応が図れるように努めている。

- ・既設の「葉山港津波発生時行動マニュアル」にもとづき、避難誘導訓練を利用者も参加可能なものとして11月に実施した。また、毎週土曜日の7時より避難経路の確認を毎週実施している。
- ・解放しているA防波堤の利用について越波等の状況を確認後利用者の安全を考え、荒天時には臨時に閉鎖等の対応を図り、また、台風等の接近が予想される場合は、事前に係留艇、陸置艇のロープ等の状況を確認し、迅速な対応を図るよう努めている。利用者からの問い合わせに対し、艇の確認で来港される方が多い際は台風時の来港者リスト作成を実施。

エ、駐車場管理業務

- ・快適に駐車場を利用できるよう適切な管理を行い、自動料金徴収機等の故障時等は迅速に対応した。また、定期的に点検を行い、駐車券の補充、釣銭の補充等を行いトラブル等防止に細心の注意を払い業務を実施。
- ・専門業者に駐車場システムの保守点検を委託し実施。

オ、会議室及びシャワー室利用承認業務

- ・利用者間の平等利用に留意しながら公平かつ適切に行うよう努めた。

(4) 開かれた港湾としての取り組みに係ることについて

ア、開かれた港湾としてのイベント

- ・例年誘致をしている、葉山町と逗子市が共同で開催をしている「バリアフリーヨット大会」において、イベント協力とレスキューボートを使用したクルージング協力を行った。
- ・国の地域活性化、地域住民生活等緊急支援交付金を活用した神奈川県三浦半島広域観光推進事業費『三浦半島海の駅巡り実施事業』により実施するイベントの第4、5弾を10月8日（土）、3月18日（土）に実施した。
- ・日本財団が実施している『海と日本プロジェクト』では江の島から葉山港までのクルージングをJSAFへ協力する形で実施した。その他、葉山マリノフェスタでもクルーズの協力を実施し、200名を超える地域住民の方にご利用いただいた。
- ・青少年の育成の支援と海洋普及の為、近隣の幼稚園・小学校の子供たちが、海を通して自然と触れ合う取り組みとして、3月30日に葉山町のヨット体験プロジェクトで、山梨葉山町長はじめ葉山町在住の小学生を乗せてセーリング体験（無料）を実施した。同9月に葉山の大浜海岸で実施された「葉山マリノフェスタ」にてカタマランヨットでの乗船体験を無料提供した。
- ・全利用者対象の海上安全祈願祭を1月8日に実施。森戸神社神職により執り行った。祈願祭の終了後は懇親会を実施し、300名の利用者にご参加いただいた。（無料）

イ、利用促進、広報

- ・新港大会ヤードで行われるレース開催及び臨時艇を受け入れ、外来艇の利用促進に努めた。
- ・利用案内を窓口に備え付け、必要に応じて利用者に配布した。
- ・葉山港の公式ホームページを利用し、レース予定・施設のご案内・ライブカメラ・申請書のダウンロードなどを継続して利用可能にした。
- ・1階の管理事務所前に休憩スペースを継続して設置し、カップめんや、ビール、船具など利用者から要望をいただいた物販を継続して実施。
- ・以前設置した事務所前スペースの意見箱と掲示板について、定期的に情報更新を実施した。利用者からの意見については、対応結果を記載した物を掲示板に掲示した。
- ・通年艇利用者に対しては、レースやイベント時で混雑が予想される際は事前に通知を送り、施設提供の協力と大会開催の理解を得ていただく要望を郵送にて対応した。
- ・希望を貰った利用者に対しては、週末の天気予報を毎週金曜日に配信をし、週末の利用促進に繋げた。予報については、弊社の気象予報士によるものを使用。

ウ、付帯事業等に係ることについて

- ・平成 28 年度の事業計画をもとに自主事業を行った。

① レンタルボート事業

ヤマハシースタイルレンタルボートの継続。通年艇利用者は、特別会員制度があり、ヨットレースの運営艇や救助艇としての利用も増加傾向にある。

一般の会員の方も利用できるシステムではあるが、安全講習を行った上での利用の為、トラブルや事故は現在まで無い状態。

② 海の駅としての取り組み

海の駅のイベントとして海洋普及を目的とした集客イベントを 10 月、3 月に実施した。他、リビエラリゾートで開催する釣り大会での誘致を行い、通年艇、持ち込みボート、レンタルのお客様など、葉山港をご利用いただいているお客様に釣り大会を楽しんで頂いた。売り上げの一部は栽培漁業へ寄付。

③ 物品販売

これまでの物品販売に、追加としてディンギーヨットのパーツを可能な限り安価で販売をし、利用者のニーズに応えた。今後も利用者からの意見を取り入れた販売を継続。

以上

28年度下半期収入計

	証紙販売	証紙店頭販売	駐車場	船具庫	ウインチ	会議室	会議室付 帯設備	シャワー	緑化	収入計 (証紙販売・緑 化除く)
10月	4,453,420	36,100	2,103,420	45,750	1,240	127,040	2,880	52,200	1,060	2,332,530
11月	4,299,950	14,000	1,621,220	93,590	3,720	82,990	4,320	24,100	520	1,829,940
12月	3,088,130	0	1,367,190	78,420	0	116,240	2,880	21,800	620	1,586,530
1月	2,145,620	9,100	1,102,820	19,610	1,240	119,850	4,320	10,000	340	1,257,840
2月	4,273,890	37,100	1,240,300	130,710	3,100	130,920	5,760	28,100	220	1,538,890
3月	7,301,120	19,400	1,451,020	326,800	1,240	99,350	5,760	39,300	620	1,923,470
半期計	25,562,130	115,700	8,885,970	694,880	10,540	676,390	25,920	175,500	3,380	10,469,200

平成28年度下期指定管理料執行状況報告書

区 分		金 額 (単位：円)			備 考
		指定管理業務	指定管理 附帯事業	その他 提案事業	
収 入	指定管理料	23,287,966			
	県収入証紙販売手数料		924,401		
	その他(事業収入)	9,708,951		12,920,509	
	その他(事業外収入)				
	消費税及び地方消費税	2,639,752		1,033,640	
	収入合計(A)	35,636,669	924,401	13,954,149	
支 出	人 件 費	常勤給与・賞与	7,409,333		
		非常勤給与・賞与	5,160,000		
		各種手当	1,079,406		
		法定福利費	1,779,266		
		アルバイト賃金	4,174,794		4,174,800
		小 計	19,602,799	0	4,174,800
	事 務 費	一般管理費	1,879,527		4,096,557
		光熱水費	3,410,590		
		保険料	0		0
	ヨット等安全管理業務費	427,839		0	
	駐車場管理費	369,200			
	施設維持管理費	6,340,100			
	租税公課	0		595,430	
	減価償却	207,273		3,547,259	
	その他			203,222	
	小計	12,634,529	0	8,442,468	
	合計	32,237,328	0	12,617,268	
消費税及び地方消費税	2,259,212		472,336		
支出合計(B)	34,496,540	0	13,089,604		
差し引き(A) - (B)		1,140,129	924,401	864,545	
差し引税別		759,589	924,401	303,241	

28年度下半期 葉山港証紙購入・販売状況

(単位:円)

	購入	販売	残
			9,632,690
10月	7,975,000	4,489,520	13,118,170
11月	0	4,313,950	8,804,220
12月	6,687,000	3,088,130	12,403,090
1月	0	2,154,720	10,248,370
2月	0	4,310,990	5,937,380
3月	6,972,500	7,320,520	5,589,360

購入合計額 21,634,500

販売合計額 25,677,830

残 5,589,360

計 21,634,500 25,677,830